

通販等で送られてくるダンボールを捨てるのがもったいない！

ダンボール再活用模索が出发点

3つのコンテンツが一つになった

- ①ギフトBOX＝ハード(アナログ)
- ②組立式VRゴーグル＝メディア(アナログ)
- ③カラーバーコード＝360度パノラマVR画像・デジタルコンテンツ

新しい発想のプロモーションツールが誕生 「Cartonfino・VR(カートンフィーノ・VR)」

P.D.P株式会社は、有限会社アラカワ紙業、株式会社サナリスと協業し、ダンボールを再活用、情報発信機能も付加した新たな販売促進ツール「Cartonfino・VR(カートンフィーノ・VR)」を開発、9月初旬より販売をスタートさせました。

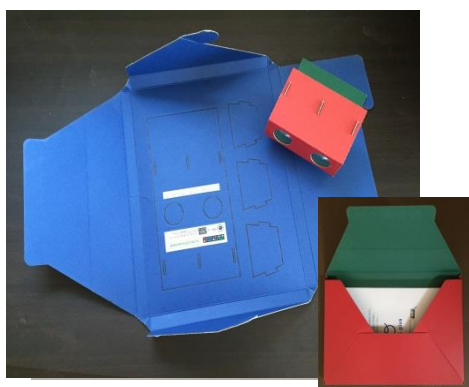
プレゼント包装のギフトボックスは色々ありますが、「Cartonfino」は、A4サイズの資料やカタログ、商品を1kgまで(厚み制限有)メール便やDM便で送ることができ、また、受け取り後も書類入れ等として活用できる機能性とデザイン性に優れた商品です。

この「Cartonfino」をVRゴーグルに再活用可能なデザインにし、さらにIoT時代に合った機能としてカラーバーコード(以下CBコード)を貼付、専用アプリで読み取るとスマホにVR画像等の情報が表示される仕組み。つまり、カートンフィーノ(アナログ)＋VRゴーグル(アナログ)＝ハードと、360° VR画像(デジタル)＝デジタルコンテンツを、CBコードと進化するスマホで1つにし情報発信するというプロモーションツールです。

最大の利点は、CBコードはQRコード等と違い、一度情報元と紐づけた以降も発信側で自由に情報更新が可能になるということです。

当ツールをお客さまに進呈することで、それ以降も常に最新の情報をお届けできるようになるという商品なのです。

また、「Cartonfino」は自由にデザインが可能ですので、限定、オリジナル展開をすることで手元にとどまる期間が長くなり、情報の浸透度が高くなる効果も期待できます。

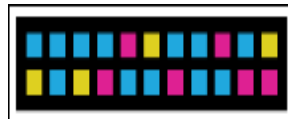


■ ①ギフトBOX「Cartonfino」 ■
DM便などで商品やカタログ
発送可能
＜アラカワ紙業＞

■ ②VRゴーグル ■
360度・パノラマVR画像
閲覧ツール
＜サナリス＞



■ 360度パノラマ
VR画像
中ノ島公会堂



■ ③CBコード ■
次世代型バーコード
デジタル情報機能
いつでも情報変更可能
＜P.D.P＞

*専用アプリ「ACT-ON」の
ダウンロードが必要です。



「Cartonfino・VR」の特徴

■体験型

⇒商品やカタログと共に手元に届く
⇒VRゴーグルを組み立てる楽しさ

■デザイン性

⇒ギフトBOX自体のデザイン性を追求することで、オシャレアイテムとしての人気を呼ぶことも可能

■CBコードというデジタルツール

⇒これまで写真やCG、パース図など平面でしか表現できず、商品の魅力を十分に伝えきれなかったアナログ形式をデジタル化。360度パノラマVR画像で表現が可能に、平面が3Dに
⇒スマホとCBコード、VRゴーグルでデジタルの世界と繋がり、商品の魅力の立体的発信が可能に

■パノラマ画像・映像

⇒360度VR画像での情報伝達が可能なので、まるでその場にいるような臨場感演出で魅了
例)異なるウェディングドレスに囲まれたように展示
観光地にて見渡す風景
マンション等、不動産の内覧同様に部屋を見て回る
高級車のインテリアを座席に座っているように 等々

■スマホ

⇒スマホ所有者が増えている今、スマホを活用した情報配信で興味喚起がしやすい

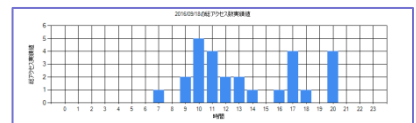
CBコード(カラーバーコード)とは

大阪狭山市「さやま再発見バル」活用事例



「さやま未来プランナー」のみなさん

CBコードへの時間別アクセス数



その場でビッと! イケてるCBコード

CBコードは、無数に発行できるコードで、その先にリンクするURLは適宜変更できます。

大阪狭山市で開催された「さやま再発見バル」(9月17日～19日)でご活用いただきました。

公式facebook、Instagram、twitterにリンク、参加店舗やチケット販売店舗までお客様を現在地から案内する経路案内(自動的に多言語化される)、参加店舗の詳細案内のために各店舗のHPなどにリンク、店舗間の移動のためのタクシー配車センターへのワンクリック発信などの機能をご活用いただきました。

map製作時、まずコードを事前に発行、そのコードにリンクする情報・コンテンツの決定は配布直前でよいため校正などのスケジュールを短縮できます。また、配布後にも変更が可能です。

QRコードは個別にだれでも発行できるため、フィッシングなどに利用される可能性が高く、アクセス数などはリンクしたURL側でしか確認できないことから、複数のコードの相関関係などが分析できません。

CBコードは、コードを一括管理することで、アクセス数の確認や複数のコードへのアクセスの相関関係などの分析が可能です。ビッグデータと一般にいわれているようなデータとすることが可能になります。

例えば、あるスマホがコードAとコードCを読み取ったかというようなことなどがわかり、関心度などの分析が可能になります。

< 本件に関するお問合せ先 >

P.D.P株式会社 清水幸弘

TEL : 090-9163-6786

E-MAIL : fling.shimizu@gmail.com